

令和4年度事業報告書

令和4年度も新型コロナウイルス感染が拡大する中、「新型コロナウイルス感染防止対策」を徹底しながら、事業計画に基づき、「技術力の向上」「経営基盤の充実」「業界の将来に向けて」の実現に向け、年間を通して積極的に活動を行った。

第11回目となる「郷土づくりシンポジウム」は、「暮らしを守る流域治水とは」をテーマとして開催し、あわせて東・中・西部の高校で「高校生にわかりやすい出前講座」を実施するとともに、シンポジウム、出前講座、業界PRのビデオを協会公式YouTubeで情報発信するなどし、「建設コンサルタント業の魅力発信と知名度向上」に取り組んだ。

国において、インフラ分野のDX、BIM/CIMが推進される中、県、国等と連携しながら、「浜坂フィールドにおけるBIM/CIM技術者養成研修」「ICT・BIM/CIM活用講習会」等に参画するとともに、当協会では「3次元測量設計検討委員会」を設置し、3次元測量設計の現状、課題・問題点、対応(案)をとりまとめて情報共有するなど、BIM/CIMに関する「技術力の向上」に取り組んだ。その他各種研修会を開催するなど技術力向上に向け、活動を行った。

県において、「とっとり建設DXマスタープラン(仮称)」の検討が進められる中、県、国と意見交換しながら、県の測量設計業務において「情報共有システムの運用」「遠隔臨場」等が令和4年度から実施されるなど、デジタル技術を活用した業務の効率化を推進するとともに、経営基盤の充実、公共の福祉の増進に向け、活動を行った。

I. 技術力の向上

1 令和4年度郷土づくりシンポジウム

今年度は、「暮らしを守る流域治水とは」をテーマとして、流域治水の政策や制度、あらゆる関係者の取り組みを学ぶとともに、あわせて東・中・西部の高校で「高校生にわかりやすい出前講座」を実施し、建設コンサルタント業界の果たす役割や大切さ、業界の魅力を発信した。

○日時：令和4年10月26日(水) 13時～16時30分

○主催：(一社)鳥取県測量設計業協会、国立大学法人鳥取大学

後援：国土交通省鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所

鳥取県、公立鳥取環境大学、鳥取大学振興協力会、中国地質調査業協会鳥取県支部
(一社)日本補償コンサルタント協会中国支部鳥取県部会、鳥取県建設分野担い手
確保・育成連携協議会

○内容

来賓挨拶 国土交通省中国地方整備局倉吉河川国道事務所

所長 藤原 年生 氏

鳥取県県土整備部 部長 蒲原 潤一 氏

【第1部】 「建設コンサルタントの役割と魅力」

「建設コンサルタントの役割と魅力」を高校生にわかりやすく伝えるため、東・中・西部の高校で出前講座を行い、会場でもWEBで出前講座の取り組みを紹介した。

東・中・西部の高校での出前講座の概要

	東 部 (LIVE)	中 部 (LIVE)	西 部 (録画)
実施日	10月26日(水)	10月26日(水)	10月19日(水)
対 象	鳥取工業高校(2年生)	倉吉農業高校(1年生) 産業人材育成センター	米子工業高校(2年生)
講 師	アサヒコンサルタント(株) (株)ウエスコ	(株)ジーアイシー	シンワ技研 コンサルタント(株)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ■建設コンサルタントの役割と魅力 ・県内の測量・設計の業務内容 ■若手社員からの魅力発信1、2 ・設計・測量等の仕事内容(1週間予定等) ■技術進歩した3次元計測技術 ・3次元計測機器(ドローン、グリーンレーザー、マルチビーム) ・3次元測量と従来測量の違い ・今後の測量 	<ul style="list-style-type: none"> ■趣旨説明 ■ドローンの活用事例紹介 ・ドローンによる測量動画 ・令和3年7月7日災害対応動画 ■ドローン実機による飛行演習 ■ミニドローンによる飛行体験 	<ul style="list-style-type: none"> ■私たちの仕事は ・卒業生からのメッセージ ■体験授業① ・デジタルカメラによる3次元計測 ■体験授業② ・UAV(ドローン)レーザーキャナのデモンストレーション ■体験授業①の成果の確認

【第2部】 「くらしを守る流域治水とは」

*「新潟県信濃川大河津分水路」現地研修報告

(一社)鳥取県測量設計業協会 総務副委員長 西村 和政

*「流域治水とは」 鳥取大学学術研究院工学系部門 教授 三輪 浩氏

*「国における流域治水の取り組み」

国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所 副所長 村上 友章氏

*「県における流域治水の取り組み」

鳥取県県土整備部 部長 蒲原 潤一氏

農林水産部 部長 西尾 博之氏

○参加者 195名 うち高等学校 66名

(鳥取工業 34名、倉吉農業・人材センター倉吉校 16名、米子工業 16名)

○シンポジウム、出前講座、業界PRのビデオを協会公式YouTubeで配信した。

○開催結果をまとめたパンフレットを作成し、関係機関等に広く提供した。

○鳥取県魅力発信事業の対象として開催した。

2 技術講習会、研究会等の開催

中国各県協会・県と連携して研修会等を開催し、技術力の向上・啓発に努めた。

また、全測連等主催の講習会案内、技術関係図書の斡旋・紹介、技術情報等の提供を行った。

(1) 第6回鳥取県優良業務発表会

第6回目となるこの発表会について、新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら開催した。また、6名の発表者の中から優秀発表者を選出し、表彰した。

日 時 令和4年4月25日(水) 13時30分～16時05分

場 所 倉吉市 倉吉未来中心 小ホール

参加者 会場 163名

優秀発表者 (株)エスジーズ 田子 京子 氏

受講者アンケート結果 理解出来た 93%

内 容

(土木関係建設コンサルタント部門)

① (株)ウエスコ鳥取支社 坂本 道彦 [鳥取県土]
野谷川河川改修工事「地質調査及び護岸詳細設計業務委託」

② 西谷技術コンサルタント(株) 山本 和也 [八頭県土]
八東川河川改修工事(大隼橋)「橋梁予備設計業務委託」

③ (株)ジーアイシー 荒尾 敦史 [中部県土]
県道東伯関金線外道路修繕工事「測量設計業務委託」(維持修繕)

④ (株)エース・プラン 栗村 剛 [米子県土]
国道180号(念佛橋)外橋梁補修工事「調査設計業務委託」(防災安全交付金)

⑤ (株)エスジーズ 田子 京子 [日野県土]
津地川流木対策検討事業(土砂災害警戒区域(土石流))業務委託(詳細設計)

(若手優良技術者)

⑥ (株)アイテック 竹内 稔 [日野県土]
根雨地区単県急傾斜地崩壊対策事業「用地測量調査業務委託」

(2) 技術士第一次・RCCM試験準備研修会

日 時 令和4年8月4日(木)

技術士一次研修 10時～12時

RCCM研修 13時10分～16時

場 所 倉吉市 伯耆しあわせの郷 大研修室

講 師 (公社)日本技術士会 鳥居 直也 氏

参加者	技術士一次研修	26名
	RCCM研修	37名
受講者アンケート結果	分り易い	技術士 95、7%
		RCCM 96、8%

(3) 令和4年度災害復旧実務研修会

日時	令和4年6月24日(金)	13時30分～16時30分
場所	倉吉市 倉吉未来中心	小ホール
講師	鳥取県県土整備部技術企画課	
内容	災害復旧事業の実務について 災害復旧事業の基本的事項や令和4年度の制度変更点 設計の留意点 事例紹介	

参加者 97名
 受講者アンケート結果 今後の業務に活かせる 95、9%

(4) 第9回土木設計関係技術発表会【WEB】

鳥取県測協代表として、ダイニチ技研(株)が発表した。

開催日	令和4年10月6日(木)	13時～16時
参加者	182名(うち、鳥取58名)	
内容		

事例発表①【鳥取県測協推薦】

令和3年度 日野川水系総合土砂観測機器保守点検他業務

ダイニチ技研(株)技術部 測量・情報グループ リーダー 諸遊博之

事例発表②【島根県測協推薦】

令和2年度 大田静間道路鳥井地区外地質調査業務

(株)共立エンジニア技術三部 課長 森脇康能

事例発表③【岡山県測協推薦】

令和2年度 小田川付替環境調査他業務

(株)エイト日本技術開発中国支社 副支社長 進藤俊則

事例発表④【広島県測協推薦】

令和3年度三次管内道路マネジメント業務

復建調査設計(株)総合計画部道路計画課 課長 酒井秀和

事例発表⑤【山口県測協推薦】

令和3年度 木与防災惣郷地区測量業務

(株)タマエンジニアリング測量課 課長 古屋誠

(5) 『DX・i-Conセミナー 2022』

1. 広島会場

日 時 令和4年 4月21日(木)
場 所 広島市 広島県民文化センター
参加者 155名

2. 米子会場

日 時 令和 4年4月22日(金)
場 所 米子市 米子コンベンションセンター
参加者 80名

3. Webライブ

日 時 令和 4年4月21日(木)
Web (Zoom) による広島会場のライブ配信
参加者 118名

(6) 「第1回インフラ勉強会」

当協会共催の第1回勉強会が、“走行映像と車両振動による路面性状評価システムの開発と実用化に向けて”と題し開催された。(今後、令和5年度に3～4回開催される予定。)

日 時 令和4年12月16日(金)
場 所 鳥取大学
主 催 鳥取大学工学部付属地域安全工学センター
共 催 鳥取県・(一社)鳥取県測量設計業協会
講 師 三井共同建設コンサルタント 吉武俊章 氏
参加者 33名(うち会員16名)

(7) 浜坂先端技術実証フィールドにおける BIM/CIM 技術者養成研修

開催日 令和5年2月22日(水)
場 所 鳥取大学乾燥地研究センター
講 師 川田テクノシステム(株)、CONTACT(建設戦略会議)
内 容 ・BIM/CIMの概要
・3次元CAD基本操作、3次元モデル作成演習(道路)
・BIM/CIM対応演習
・フィールド演習
参加者 15社 20名

(8) 建設産業で働く人の交流会

開催日 令和5年2月16日(木)
場 所 中部建設業協会

参加者 鳥取県建設業協会、鳥取県測量設計業協会、鳥取大学、鳥取県(中部県土)
テーマ 「県内建設産業への就職を考えていただくにはどうすればよいか？」
主な意見 鳥大生等から「職場環境や待遇等について正確な情報が伝わっておらず、
負のイメージがついている」という意見が多くあり、業界のPR、職場環
境や待遇についての情報発信、ICT化による労働環境改善等が求められた。

(9) 鳥取県盛土等に係る斜面の安全確保に関する条例の施行に伴う説明会

鳥取県盛土等の斜面の安全確保に関する条例(令和3年12月24日公布)が令和4年5
月1日から施行されることに伴い、同条例、条例施行規則及び盛土等の安全確保に係る技
術基準についての説明会がオンラインで開催された。

日時 令和4年4月21～26日

参加者 11社 25名

(10) 『最新の建設ICT技術～災害復旧・防災・国土強靱化対策に有効な施工事例』鳥取会場Web
(全国圧入協会主催、鳥取測協後援 7月15日)

(11) 「実務者向けセミナー ～UAVを中心とした複合的な計測とその利用～」共催

(日測協主催、地区協共催 6月22日 米子)

(12) 「実務者向けセミナー ～UAVを中心とした複合的な計測とその利用～」共催

(日測協主催、地区協共催 8月25日 広島)

(13) 「測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」共催

(日測協主催、地区協共催 11月10日 松江)

(14) 「測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」共催

(日測協主催、地区協共催 12月13日 広島)

(15) 「令和4年度スペシャリストの会中四国支部(第7回)講演会」後援

(日測協主催、地区協後援 8月4日 広島)

(16) 令和4年度測量新技術講習会(第1回)(5月27日 東京都測協 WEB)

(17) 令和4年度公共物管理等の実務講習会【第2回Web講習会】

(8月5日～19日 東京都測協)

(18) 令和4年度地籍調査講習会【第3回Web講習会】(10月14日 東京都測協)

(19) 令和4年度測量新技術講習会【第4回Web講習会】(12月16日 東京都測協)

(20) 第26回西日本技術士研究・業績発表年次大会(10月21、22日 技術士会)

(21) 第28回技術講演会(6月24日 地質協会)

(22) 令和4年度鳥取県支部第24回技術講演会(11月11日 地質協会鳥取県支部)

(23) 令和5年測量士試験受験対策講習会(3月22～24日 島根県測協)

(24) 令和4年度農地及び農業用施設災害復旧技術向上研修会(前期)

(7月11日 倉吉市 63名申込) [中止]

- (25) 「道路と構造物設計実務実践5日間研修会(初級～中級)」
(4月18日～22日 WEB)
- (26) 「i-Construction システム学」 寄付講座 2022年度第1回公開ワークショップ
(4月22日 WEB)
- (27) 1級・2級水路測量技術研修(4月、6月 WEB)
- (28) GNSSによる基準点測量講習会(5月12日 松江)
- (29) 令和4年度災害復旧実務講習会(5月12・13日 東京都)
- (30) 「砂防ダム調査・計画・設計実務実践研修会 IN岡山」(5月12・13日 岡山・Web)
- (31) 河川測量設計講習会(Iコース) Web講習(5月23日)
- (32) 「i-Construction システム学」 寄付講座 2022年度第2回ワークショップ(5月30日 WEB)
- (33) 土木未修学社員等のための土木工学入門教室(5月～10月 米子)
- (34) 「事例から学ぶ ため池改修(補修・補強)設計実務実践研修会」
(6月2・3日 大阪・Web)
- (35) ネットワーク型RTK法による基準点測量技術講習会(6月7日 広島市)
- (36) 基準点測量B課程講習会(6月13日～17日 廿日市市)
- (37) 測量・地理空間情報イノベーション大会2022(6月15日 WEB)
- (38) 「改訂3版 設計業務等標準積算基準書の解説」説明会(7月6日～9月14日 広島等)
- (39) 落石対策調査・計画・設計実務実践研修会(7月7,8日 広島市・WEB)
- (40) 「i-Construction システム学」 寄付講座 2022年度第3回公開ワークショップ
(7月8日 WEB)
- (41) 路線測量・用地測量(7月12日 WEB)
- (42) 『最新の建設ICT技術～災害復旧・防災・国土強靱化対策に有効な施工事例』ライブ配信
鳥取会場(7月15日)
- (43) ハザードマップの基礎(7月19日 WEB)
- (44) 洪水ハザードマップの基礎(7月20日 WEB)
- (45) GIS B課程講習会(Iコース) Web講習(7月25日～30日 広島)
- (46) 令和4年度ダム管理技士試験及び養成講習会(7月 東京)
- (47) 中小河川の計画(水文、水理技術)実務実践研修会(初級)(8月3、4日 広島、WEB)
- (48) 橋梁設計(初級・演習)3日間研修会(8月24日～26日 WEB)
- (49) 第20回建設ロボットシンポジウム(8月24日～26日 早稲田大学・WEB)
- (50) 急傾斜地崩壊防止対策研修会(8月29、30日 大阪、WEB)
- (51) 地理空間情報イブニング・セミナー(Web講習)(8月31日 広島)
- (52) 基準点測量B課程講習会(基準点測量コース)(9月6日～12日 広島)
- (53) UAVを用いた空中写真測量講習会(9月20日 広島)

- (54) 河川測量設計課程 II コース (Web 講習) (9月26日～30日 広島)
- (55) 新道路橋示方書適用に関する実務実践研修会 (オンライン開催) (9月27日・28日)
- (56) 2022年度「i-Construction システム学」寄付講座 成果報告会 (10月18日 WEB)
- (57) 測量数学・誤差学の基礎 (Web 講習) (10月20日)
- (58) 基準点測量A課程 (測地論コース) (10月24日～29日 広島市)
- (59) UAV取得データを用いた災害地の計測と調査 (11月15日 広島)
- (60) 第15回 i-Construction システム学」寄付講座セミナー (11月15日 WEB)
- (61) 地域建設コンサルタントのための「これだけは知っておきたい」BIM/CIM 実践研修会
(11月28日～30日 WEB)
- (62) スペーシャリストの会 特別講演会(DVD 講演) (12月2日 広島)
- (63) G空間 EXPO2022 (12月6日～7日 東京、WEB)
- (64) 令和4年度鳥取県被災宅地危険度判定士養成講習会 (オンライン 2月1日～28日)
- (65) 実務者向けセミナー ～UAV計測の利活用事例 (2月7日 東京・WEB)
- (66) 令和4年度防災セミナー (2月10日)
- (67) 測量士答案練習セミナー (Web 講習) (3月6日～10日)
- (68) 「i-Construction システム学」寄付講座 協調領域検討会 第2回協調領域シンポジウム
(3月10日 WEB)
- (69) 測量士補答案練習セミナー (Web 講習) (3月22日～25日)
- (70) BIM/CIM LIVE 第12回 (3月24日 WEB)
- (71) 土木未修学社員等のための土木工学入門教室 (4月～9月 WEB)
- (72) 2級水路測量技術研修 (4月12日～21日 オンライン、対面)
- (73) 急傾斜地崩壊防止対策研修会 (4月13日～14日 大阪・WEB)
- (74) 基準点測量A課程 (基準点測量コース)(Web 講習) (4月10日～16日)
- (75) 公共基準点測量成果のまとめ方 (4月19日 広島市)
- (76) 鳥取県コンクリート診断士受験対策研修 (4月22日 倉吉市)
- (77) TSによる3・4級基準点測量 (4月27日 松江市)
- (78) ナローマルチビーム水路測量講習会 (5月23日～26日)
- (79) 1級水路測量技術研修 (6月8日～17日 オンライン、対面)

3 技術情報・業務情報の提供

- (1) 2022年度版 公共測量積算ハンドブック
- (2) 令和4年度版設計業務等標準積算基準書
- (3) // 準拠 単価表作成ツール ERX-II
- (4) 「点群データの取得と処理」～測量・土木の実務者向け入門書
- (5) 改訂3版 設計業務等標準積算基準書の解説

- (6) 『女性地理空間情報コンサルに訊け!』－女性地理空間情報コンサル技術者による座談会－
- (7) 令和4年度版 工事歩掛要覧<土木編上・下>
- (8) 公共工事における契約変更の実際
- (9) 令和4年版災害復旧工事の設計要領
- (10) 災害査定の手引き (令和4年版)
- (11) 補訂版 公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱の解説
- (12) 『測量関係法令集』令和4年版
- (13) 地籍測量成果検定における指摘事例集 (第2版)
- (14) 災害復旧実務講義集 (令和4年度版)
- (15) 必携 用地補償実務便覧 2023年版
- (16) 令和3年発生災害採択事例集
- (17) 令和4年 測量士・測量士補 国家試験問題模範解説集
- (18) 汐さいの地図
- (19) 都市再開発実務ハンドブック 2022
- (20) 補訂版 公共補償 基準要綱の解説
- (21) 改訂版 明解 事業喪失の理論と実務
- (22) 測量士・測量士補国家試験 科目別模範解答集(平成29年～令和3年)
- (23) 測量士・測量士補国家試験 受験テキスト
- (24) 令和5年版 河川六法
- (25) 業務におけるオンライン電子納品の運用開始について周知
- (26) 第37回地図地理検定周知
- (27) 河川技術者資格試験周知
- (28) 河川維持管理技術者資格 (河川維持管理技術者、河川点検士) 活用周知

4 現地研修

「信濃川流域治水プロジェクト」の計画・実施状況・実施にむけた課題、信濃川・大河津分水・関屋分水の恵みへの感謝と川の未来を考えることの大切さを伝える「大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年事業」等について学び、今後の会員業務に活かしていくため、現地研修を行った。

実施日 令和4年6月16日(木)～17日(金)

研修場所 新潟県新潟市、燕市

参加者 22名

研修内容 6月16日 ○ 信濃川(中流)流域治水プロジェクト概要説明
 ○ 信濃川大河津分水路令和の大改修・大河津資料館現地視察
 ○ 新潟県測協との意見交換会

5 令和4年度建設技術研修検討委員会

委員会では、来年度の研修について、今年度に引き続き、「若手技術者のための基礎研修充実」、「新技術、デジタル化対応」、「頻発化・激震化する豪雨災害等対応」、「インフラ維持管理に関する研修充実」を重点に計画することとされた。（小林委員長出席）

開催日	令和4年10月19日
場所	とりぎん文化会館
議題	○ 令和4年度建設技術研修結果について ○ 令和5年度建設技術研修について ○ 加点予定研修について
出席者	県技術企画課、農地・水保全課、鳥取市、建設業協会 等

6 鳥取県 i-Construction 推進連絡会

ICT を活用し建設現場の生産性向上を図り、魅力ある建設産業の実現、良好な社会資本の提供に寄与する i-Construction の推進に向け、官民が一体となって取り組むことを目的として平成29年度にこの会が発足し、当協会も参加しているが、今年度は、ICT/BIM/CIM の活用、建設DXを推進するため、意見交換会や講習会を開催した。

○ 会議

（第1回）

開催日	令和4年7月13日
場所	3事務所、WEB
内容	・各機関の取組状況について ・令和4年度活動計画（案）について ・意見交換

（第2回 書面）

内容	・令和4年度活動について ・令和5年度活動計画について
----	--------------------------------

○ 令和4年度鳥取県ICT・BIM/CIM活用講習会

開催日	令和4年10月18日
場所	倉吉未来中心、山陰道北条道路工事現場
内容	・ICT活用工事の推進について ・ICT活用工事導入のメリットについて ・ICT小規模土工について ・BIM/CIM を活用したボックスカルバートの施工現場見学 ・ICT小規模土工現場体験講習

参加者 42名

○ 建設現場のDX関係講習会（WEB）

開催日 令和5年1月19日

内容 ・小規模を含む建設現場のデジタル化を支援するスマートコンストラクション

○ 建設現場のDX関係講習会（WEB）

開催日 令和5年1月26日

内容 ・BIM/CIM 監理業務の経験による BIM/CIM データを活用した3次元管内図の開発

II. 経営基盤の充実

鳥取県との意見交換会を実施する等積極的に活動を行うとともに、昨年に引き続き、歩掛りの検討等を行った。県との意見交換会で課題となった事項については、検討・協議を重ね、県へ要望等実施した。

1 総合評価入札制度等に関する県との意見交換会

新型コロナウイルスによる感染が急拡大するなか、WEBも活用しながら県から総合評価入札の検証結果の説明等を受け、意見交換会を実施した。

○ 県による総合評価入札の検証結果説明 12月23日

開催方法 WEB（協会；西谷技術コンサルタント(株)会議室）

出席者 県；前田次長、県土総務課 西村室長、岡本係長
協会；澤会長、山本副会長、小林副会長、酒本専務理事
西村理事、岩山理事、井上理事

○ 県の説明内容を会員へ周知、意見等を取りまとめて県へ提出

○ 意見交換 3月17日

開催方法 対面（理事）とWEB

出席者 県；前田次長、県土総務課 西村室長、岡本係長
協会；澤会長、山本副会長、小林副会長、大西副会長
酒本専務理事、西村理事、岩山理事、井上理事
日本補償コンサルタント協会鳥取県部会と合同で県と意見交換

2 委託業務全般についての検討について

(1) 「全県統一事項」について

○ 県との意見交換会（8月5日）で全県統一事項（新規要望：橋梁補修設計等）について要望した。これに対して、9月6日に県から回答があり会員へ周知した。

令和5年3月に県は砂防技術指針を改訂した。

契約事務の統一に関して、令和5年8月頃に県が電子契約システムを導入される予定。

(2) 「砂防インフラ維持管理システムを利用した砂防関係施設点検業務」「鳥取県砂防関係施設長寿命化計画点検業務」について

① 「砂防インフラ維持管理システムを利用した砂防関係施設点検業務」について、6月2日、7月20日に県から見積提出依頼があり、6月10日、9月30日に県へ見積書を提出した。

② 「砂防インフラ維持管理システムを利用した砂防関係施設点検業務」の仕様書見直しと説明会の開催を9月8日に県へ要望した。9月29日に県が砂防関係施設点検業務の仕様書見直しを行い、説明会を開催した。

③ 「鳥取県砂防関係施設長寿命化計画点検業務」について、10月18日に県から見積提出依頼があり、11月22日に県へ見積書を提出した。

1月25日に県から特記仕様書及び歩掛改定通知（令和5年1月1日以降起工適用）があり、会員へ周知した。

④ 「砂防インフラ維持管理システム」の改修について

県では、今年度から「砂防インフラ維持管理システムを活用した砂防関係施設長寿命化計画点検業務」を発注され、受注者側の意見も反映させながらシステム改修することとされおり、4月中に早期改修事項についてシステム改修を行う予定。

(3) 「橋梁補修調査設計業務」歩掛見直しについて

歩掛見直しについて、5月31日に県へ再度要望した。（澤会長、酒本専務理事）

2月17日に県道路企画課から今年度中に「標準歩掛により難しい場合は見積徴収して決定する、補修と架替えを比較検討する場合は比較検討に要する費用を別途計上する」など一部改定（令和5年度から適用）予定であり、来年度、再度関係機関と調整しながら改定案を作成していく」ことについて説明があった。（澤会長、酒本専務理事）

令和5年3月17日に県は橋梁補修調査設計業務委託歩掛を一部改定した。

(4) 「道路工事関係技術便覧」改訂について

「道路工事関係技術便覧」改訂案について、5月16日に県から意見提出依頼があり、6月30日、令和5年2月27日に県へ会員の意見を提出した。

令和5年3月15日に県は道路工事関係技術便覧（第六版）を発行した。

(5) 「鳥取県砂防技術指針」改定について

「砂防技術指針」改定に向け、5月18日に県から意見提出依頼があり、6月30日に県へ会員の意見を提出した。令和5年3月に県は砂防技術指針を改定した。

(6) 「鳥取県治山技術指針」改定について

「治山技術指針」改定に向け、8月26日に県から意見提出依頼があり、10月7日に県へ会員の意見を提出した。

令和5年3月24日に県は治山技術指針を改定した。

(7) 「3次元測量設計検討委員会」について

国が令和5年度からBIM/CIMを原則適用される中で、県でも平成30年度から道路予備設計等で3次元測量設計(フロントローディング等)の試行に取り組んでいるが、設計時と施工時におけるソフトの互換性の低さやコストが割高になるなどの課題があり、県における3次元測量設計の今後の方向性は不明確な状況にある。

このような中で、これまでの3次元測量設計の試行結果を踏まえ、3次元測量設計の課題・問題点等を整理し、県と勉強会を行いながら、今後の方向性について県と一緒に検討していくため、協会に「3次元測量設計検討委員会」を設置した。令和4年度は検討委員会を2回開催し、3次元測量設計の現状、課題・問題点、対応(案)をまとめて県へ説明した。

1) 第1回 9月21日

- 委員会の目的について
- 3次元測量設計の現状と課題・問題点等について
- 今後の検討の方向性について

2) 第2回 11月8日

- 3次元測量設計の現状、課題・問題点、対応(案)について

第1回検討委員会の資料を基に、コンサル視点と施工視点の双方の意見、課題と今後の取組、対応策等についてとりまとめた。

3) 11月18日に3次元測量設計検討委員会で検討した結果を県へ説明した。

(小林委員長、酒本専務理事)

(8) 「公益財団法人鳥取県建設技術センターの橋梁メンテナンスシステム」について

1) 「公益財団法人である鳥取県建設技術センターが定款の事業(技術支援)以外の事業であり、協会員が行うことができる市町の橋梁点検等を受託され、今後県内市町へ展開される」ことなどについて、県へ質問書を提出した。(8月5日)

2) この質問に対して、11月30日に「インフラ情報マネジメントシステムの運用を検討するために、町をモデルとして直営による定期点検業務等を一括受託し、情報収集とタイプ分類を行った。今後、建設技術センターにおいては、モデルとした成果に基づいて、市町村を技術面及び財政面で支援するため、直営点検の支援や詳細調査設計委託等の発注等の支援を進める予定と聞いている」などと県から回答があった。

3) 2月6日に「今後の建設技術センターの業務にあっては、県内全市町村を目標として支援する市町村を拡大しながら、橋梁の構造等の諸元をデータとして蓄積し、点検や補修等の情報を連携させ、精度向上を図り、効率的なメンテナンスを図っていくことにしており、建設技術センターは、市町村の直営点検の支援や詳細調査設計委託等の発注等の支援を行うことにしている。インフラ情報マネジメントシステムは、将来的には県も

利用することを考えており、受注業者も利用できるようにしていく。」などと県と建設技術センターから追加説明があり、今後も定期的に協議していくことになった。(県：藤井課長、建設技術センター：河田代表理事他、協会：澤会長、山本副会長、酒本専務理事)

(9) その他

- ① 「砂防堰堤や擁壁等橋梁以外の構造物における直接基礎の支持力照査方法」について県へ質問し、県からの回答「Q&A」を会員へ周知した。(11月25日)

3 経営に関する施策の推進

- (1) 令和4年度インターンシップ研修生受入れ 11社希望
(2) 令和4年度 入札・契約手続き等に関する説明会 (WEB開催) 4月14日
(3) 会員相互の親交・情報交換のための懇親会の開催
1) 第11回通常総会及び報告会終了後の懇親会
2) 「親睦グラウンドゴルフ大会」(9月16日) [中止]
(4) 県への要望活動・意見交換会等の実施

1) 県関係

- ・ 県との意見交換会

開催日 8月5日

場 所 鳥取市 とりぎん文化会館

出席 県 ; 蒲原部長、山本次長兼県土総務課長、前田次長、藤井技術企画課長、県土総務課西村室長、技術企画課永田課長補佐
協会 ; 澤会長、山本副会長、大西副会長、小林副会長、酒本専務理事、西村理事、岩山理事、井上理事、林監事、生西監事

協会提出議題

- 1 インフラ分野におけるDX推進に向けた具体的な取組について
- 2 BIM/CIMの推進に向けた取組方針について
- 3 担い手の確保・育成の取組
- 4 その他

県対応

- 1 インフラ分野におけるDX推進に向けた具体的な取組について

<当面の取組>

○Web会議システム活用・遠隔臨場

「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」策定

(令和5年1月1日調達公告分から適用)

受注者希望型、費用は見積変更対応とする。

○測量設計業務における情報共有システムの運用

「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」一部改定

(令和5年1月1日調達公告分から適用)

測量等業務も受注者希望型、費用は見積変更対応とする。

○入札公告情報取得の自動化

入札公告情報をエクセル形式で入札情報公開サービスに掲載

(令和5年1月以降事務所毎に随時実施)

○積算内訳の公表場所・方法の変更

「予定価格に係る積算内訳の公表に関する事務取扱要領」一部改正

(令和5年4月1日以降契約分から適用)

<今後の方針>

○「とっとり建設DXマスタープラン(仮称)」

県からは「8月にPTをつくり素案を作成し関係機関と調整中であり、年度内に素案をまとめて、令和5年度策定を目指していきたい」と回答があった。

○電子契約

電子契約の導入による契約手続のデジタル化について、2月17日に「令和5年7月頃に電子契約サービス利用説明会を開催し、8月頃から電子契約サービスの利用を開始予定(紙契約でも対応可能)」と県政策法務課と県土総務課から説明があった。(澤会長、酒本専務理事)

2 BIM/CIMの推進に向けた取組方針について

<当面の取組>

○3次元測量設計に係る県と協会の勉強会の開催

協会では、3次元測量設計検討委員会を立ち上げて課題等を整理し、県へ提出した。(11月18日)今後、県内部で課題等を整理し、国の動向も踏まえ、令和5年度、県と当協会等で勉強会を開催予定。

○建設分野のDX・3次元測量設計等の人材育成

令和5年2月22日に「浜坂先端技術実証フィールドにおけるBIM/CIM技術者養成研修」が開催された。

<今後の取組方針>

○県におけるBIM/CIMの将来ビジョン・目標・ロードマップ

県からは、「令和5年度国のBIM/CIM原則適用の具体的な内容も踏まえ、県と協会等との勉強会を行いながら、とりまとめていきたい」と回答があった。引き続き、県に対して、県の方針やロードマップを早期に示すよう要望していく。

4 その他

○「豪雨災害発生時のドローンを活用した土砂災害発生状況調査」

意見交換会で県土整備部長より検討報告があり、10月26日の郷土づくりシンポジウムでは、部長より「豪雨災害発生時のドローンを活用した土砂災害発生状況調査」について説明があった。

この調査は、これまで県が直営で行っていた又は十分に行えていなかった二次災害防止対策に係る調査等を新たに外部委託し、さらに効率化を図るためにドローンによる三次元測量等も活用して行うものであり、災害協定に基づいて実施され、事前に各事務所が調査の内容・方法について協会と協議される予定。

2) 国関係

・県内事務所長との意見交換会

開催日 令和4年11月29日
場 所 鳥取市 鳥取シティホテル
出 席

国土交通省中国地方整備局

企画部工事品質調整官	山 本 俊 彦
鳥取河川国道事務所長	井 上 直
同 副所長	松 岡 弘 久
同 副所長	村 上 友 章
倉吉河川国道事務所長	藤 原 年 生
同 副所長	平 西 邦 裕
日野川河川事務所長	大 塚 尚 志
同 副所長	岡 崎 尚 也

全会員

○講 演

「令和5年度B I M / C I M原則適用に向けて」

講師：中国地方整備局企画部

工事品質調整官 山 本 俊 彦 氏

○意見交換

- 協会提出議題
- ・令和5年度からの「B I M / C I M原則適用」について
 - ・入札制度について
 - ・W e b 協議等について

○意見交換会での県内事務所の意見に対する回答・要望

県内事務所から意見のあった「通常指名」と「簡易公募型」について、協会の意見をとりまとめて、12月27日に県内事務所へ回答・要望した。(澤会長、酒本専務理事)

<協会の回答・要望>

- 1 「通常指名」と「簡易公募型」については、引き続き、業務の規模や内容に応じて選択し適用していただきたい。
- 2 「通常指名」、「簡易公募型」について、「予定価格二千万円未満」を見直して「予定価格三千万円未満」を「県内本店限定」の対象とし、「県内本店限定」業務を多く発注していただきたい。
- 3 地域の建設コンサルタントの技術力向上、育成の観点から、同種又は類似業務実績について、鳥取県発注の業務実績も対象としていただきたい。

4 その他経営基盤の充実

(1) 各種経営講習会への参加

- ・令和5年度発注者支援業務等に関する民間事業者向け説明会(11月15日 WEB)

(2) 企業倫理・法令遵守の徹底

- 1) 令和4年度建設関連5団体共催講習会[中止]

(3) 経営関係業務支援

- 1) 新型コロナウイルス感染防止について

「新型コロナウイルス感染症の感染防止対策」に沿いながら活動した。

- 2) 国、県等の新型コロナウイルス感染防止についての情報を提供した。
- 3) 国土交通省に提出する申請、報告等の審査を行った。
- 4) 総合評価落札方式における賃上げを実施する企業に対する加点措置について周知
- 5) BIM/CIM についての情報を提供した。

Ⅲ. 業界の将来に向けて

1 新規技術者確保に向けた環境整備

(1) 鳥取県建設分野担い手確保・育成等連携協議会

鳥取県では、公共工事の品質確保の促進に関する法律第3条の理念に則り、行政、学術機関、民間企業等関係機関が、連携して建設分野の担い手の確保・育成の取組及び公共工事の生産性を向上させる取組を推進すること、持続可能な建設産業の発展及び建設分野における県の強靱化につなげることを目的としてこの会を設置され、この会のメンバーとして、当協会も参加した。

今年度は、鳥取大学浜坂キャンパスで3次元設計とICT建機の導入及び5G活用による技術導入に着手し建設分野の生産性向上を推進するとともに、建設分野のPR動画を作成し建

設産業の魅力発信等に努めた。

- 1) 第1回(5月11日)〔書面協議〕
 - ・令和3年度決算の承認について
 - ・令和4年度補正予算について
- 2) 第2回(8月1日)
 - ・令和3年度までの取組状況
 - ・令和3年度を含む今後の課題
 - ・令和4年度取組予定
- 3) 第3回(12月26日)(酒本専務理事出席)
 - ・任期満了に伴う役員選任について
 - ・令和4年度補正予算について
 - ・事業の中間報告について
 - ・令和5年度取組について
- 4) 第4回(3月15日)(酒本専務理事出席)
 - ・担い手協議会取組について
 - ・令和4年度決算(案)について
 - ・令和5年度予算計画について
 - ・申し合わせ事項について
- 5) 第1回情報発信部会(7月5日)(山本副会長出席)
- 6) 第5回「とっとり けんせつ 魅力発信フォトコンテスト」審査会〔書面審査〕
県内の小・中学校に通う児童・生徒からの応募の中から、17点の入賞作品を決定。
- 7) 専門高校へのUAV測量演習等
 - UAV測量演習
 - 倉吉農業高校2年 9名 - 11月17日 講師：(株)ジーアイシー
 - 鳥取工業高校1年 18名 - 2月9日 講師：アイコンヤマト(株)
 - 測量士補資格取得支援
 - 倉吉農業高校2年 5名 - 1月30日、2月13日・27日
 - 講師：(株)ジーアイシー
- 8) 浜坂先端技術実証フィールドにおけるBIM/CIM技術者養成研修(再掲)
 - 開催日 令和5年2月22日
 - 場 所 鳥取大学乾燥地研究センター
 - 参加者 15社 20名
- 9) 建設産業で働く人の交流会(再掲)
 - 開催日 令和5年2月16日

場 所 中部建設業協会

参加者 鳥取県建設業協会、鳥取県測量設計業協会、鳥取大学、鳥取県（中部県土）

テーマ 「県内建設産業への就職を考えていただくにはどうすればよいか？」

2 業界を担う次世代の育成

(1) 次世代を担う経営勉強会 [中止]

(2) 若手技術者勉強会（8月24日）[中止]

業界を担う若手技術者の育成とシニア人材の活用を図るため、今年度からシニア技術者を交えたこの勉強会を計画したが、新型コロナウイルス感染の拡大に伴い今年度は中止した。

(3) 中国地区協議会「次世代の会」[中止]

鳥取県測協代表の委員として、信岡社長と田栗社長の2名を決定した。

(令和4年度第3回理事会決定)

3 公共の福祉に寄与する事業の実施及び参加

(1) 「測量の日」マッピー君ノート作製・活用

協会名の入ったノートを作製し、各会員へ配付するとともに、鳥取県児童生徒地域地図発表作品展の会長賞副賞等として提供した。今後も協会が参加する行事等で活用していく。

(2) 第24回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展（後援）

今年度もこの作品展に後援し、小学校の部1名に当協会会長賞を授与した。

会長賞：「佐治小にドクターヘリがやってきた！」

鳥取市立佐治小学校5年生 下田さん

表彰式：令和4年12月18日 とりぎん文化会館

小林副会長授与

(3) 第15回鳥取県県土整備部測量競技会（11月14日）

準備；(株)ウエスコ鳥取支社

参加；(株)アール企画

(4) 鳥取県建設技術センター研修会への講師を派遣した。

「測量実習研修」（県委託研修 9月16日）

講師；椿コンサルタント(株)、(有)サン技術コンサルタント

「測量実習研修」（センター自主研修）－ 不実施

(5) 鉄道と土木興味ワク湧く郊外学習（11月25日）

アサヒコンサルタント(株)対応

(6) UAV 測量演習（再掲）

倉吉農業高校 － 11月17日 講師：(株)ジーアイシー

鳥取工業高校 － 2月 9日 講師：アイコンヤマト(株)

(7) 測量士補資格取得支援（再掲）

倉吉農業高校 ― 1月30日、2月13日・27日 講師：(株)ジーアイシー

(8) (公財) 鳥取県建設技術センター理事

理事：山本 賢一郎（西谷技術コンサルタント(株)）

任期：令和4年5月開催の評議員会から令和6年5月開催の定時評議員会まで
（2年間）

(9) 米子市景観審議会委員

委員：福 景 宏 通（(株)ワーパス）

任期：令和5年4月1日から令和7年3月31日まで（2年間）

(10) 基準点説明板設置・維持事業

鳥取市、倉吉市、米子市に設置している基準点説明板の維持・管理を行った。

(11) 「緑の募金」運動賛同

(12) 日本赤十字活動協賛

(13) 中国自動車道岡山米子線(蒜山 IC~境港間)整備促進総決起大会（11月8日 大西副会長）

(14) 山陰近畿自動車道整備促進決起大会（1月25日）[中止]

(15) 山陰近畿自動車道「岩美道路」（浦富 IC~東浜 IC）開通式（3月12日 会長）

4 測量設計無料相談の実施

測量に関連した用語、資格者会社の問い合わせ等について、事務局、協会ホームページで対応した。

また、各会員が年間を通して個々に実施した。

5 災害時の技術協力及び技術援助

(1) 災害の発生に備え、応援協力体制を確認・整備した。

降雨による災害について迅速に対応し、早期の災害復旧となるよう努めた。

また、協力体制等についての問題点等を調査し、より迅速な対応・復旧となるよう検討した。

(2) 県の災害支援要請訓練参加

県及び県と災害協定を締結している事業者等による災害発生を想定した支援要請訓練が実施され、参加した。

この訓練は実連絡ルートで実施されることから、各支部へ事前連絡し周知を図った。

訓練日時：令和5年1月17日

訓練場所：鳥取県庁及び各協定締結事業所

参加者：鳥取県、協定締結業者

(3) 鳥取河川国道事務所「令和5年度災害応急対策活動等に関する基本協定」周知

(4) 水際・防災対策連絡会議

- 1) 令和4年度水際・防災対策連絡会議 6月16日 WEB
 - 2) 令和5年度水際・防災対策連絡会議 3月24日 書面開催
 - 3) 台風等被災時の水際・防災対策についての情報共有・対策に係る情報提供等がなされた。
- (5) 鳥取港港湾 BCP 情報伝達訓練
- 地震等により鳥取港港湾施設等に被害が発生したと想定し、港湾管理者と鳥取港港湾 BCP 連絡協議会会員の間で情報伝達訓練が行われ、参加した。
- 訓練日時：令和5年3月16日
- 訓練場所：鳥取港港湾 BCP 連絡協議会会員事務所
- 参加者：鳥取港港湾 BCP 連絡協議会会員

6 「測量の日」関連行事の実施

- (1) 第25回中国地区測量技術講演会（6月27日 広島市 6名参加）
- (2) 6月3日の「測量の日」を中心に、懸垂幕、ポスターを提示した。また、鳥取県では、中国電力ふれあいホール電光掲示板に表示され、PRに努めていただいた。
- (3) 「測量の日」中国地区連絡協議会（1月30日 WEB）

IV. 全測連その他関係諸団体との連携

1 全測連関係

澤会長が、未来の測量委員会 三次元計測部会員として活動した。

- (1) 令和4年度定時総会（6月30日 東京都 澤会長）
 - 令和3年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について
 - 理事及び監事の選任について
 - 定款の変更について
 - 令和3年度事業報告について
 - 令和4年度事業計画及び令和4年度収支予算案
- (2) 全測連交流会 in 北海道（6月9日・10日）
- (3) 賀詞交換会 1月12日 [中止]
懇談会（1月12日 東京都 山本副会長）
 - 国土交通省との意見交換会について
- (4) 全測連会長会議（11月7日 盛岡）
- (5) 地区協議会会長会議（10月13日）
 - 各地区協議会からの報告
 - ・ 地方整備局等との意見交換会について
 - ・ 国土交通省への要望等について

(6) 理事会

第1回 5月25日、第2・3回 6月30日、第4回 7月21日

第5回 10月13日、第6回 12月6日

(7) 「働き方改革」、「ウイズコロナ、アフターコロナ」に対するアンケート

全測連総務広報委員会が昨年調査したこのアンケートについて、結果を周知した。

アンケート結果中、担い手確保部分については、国交省と意見交換された。

(8) 新型コロナウイルス感染症対策等についての情報提供

(9) 令和3年度『公共測量に関する課題調査検討委員会』で検討された「トータルステーションの自動視準・自動追尾使用に関する留意事項」について、国土地理院ホームページ公開

(10) 「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」の実施に向けた法遵守状況の自主点検調査

公正取引委員会及び中小企業庁では、「価格転嫁に係る業種分析報告書」を踏まえ法遵守状況の自主点検の対象となる19業種を選定。技術サービス業（建築設計業・測量業・その他の土木建築サービス業）もその業種に該当することから国交省からの依頼により全測連が取り纏めた。（鳥取県測協 24社提出）

2 全測連中国地区協議会関係

(1) 第82回定例会（5月12日 米子市）

- 令和3年度事業報告並びに収支決算の承認について
- 令和4年度活動方針及び事業計画（案）並びに収支予算（案）について

(2) 第83回定例会（11月10日 倉敷市）

- 中国地整との意見交換会（11/7）について
- 全測連、中国地区協議会の活動報告
- 各県提出議題に係る意見交換

(3) 会長・副会長会議

1) 第1回（4月6日 広島市）

- ① 令和3年度活動実績について
- ② 令和3年度決算について
- ③ 令和4年度活動方針及び事業計画（案）について
- ④ 令和4年度予算（案）について
- ⑤ 令和4年春定例会について

2) 第2回（5月12日 米子市）

- ① 会長をはじめとする新役員（案）について
- ② 全測連監事の推薦について

- ③ 次回定例会について
- ④ 「次世代の会」委員について
- 3) 第3回（9月13日 広島市）
 - ① 国との意見交換会議題について
 - ② 第9回土木設計関係技術発表会について
- 4) 第4回（2月1日 宇部市）
 - ① 令和4年度事業執行中間報告
 - ② 令和5年度事業計画
 - ③ 情報・意見交換
- (4) 技術委員会議（8月25日 書面）
- (5) 事務局長会議（4月13日 広島市）
 - ① 令和3年度事業報告、決算
 - ② 令和4年度活動方針及び事業計画（案）、予算（案）について
 - ③ 各県測協からの議題について
- (6) 国土交通省中国地方整備局との意見交換会
 - ・中国地整企画部との意見交換会

中国地区協主催の会に澤会長、山本副会長が出席した。

開催日 令和4年11月7日
 場所 広島市 ひろしま国際ホテル
 出席者

【国土交通省中国地方整備局】

所 属		役 職	氏 名
部	課		
企 画 部	_____	部 長	西 澤 賢太郎
		技術調整管理官	福 代 智 之
		技術開発調整官	今 津 勉
	技 術 管 理 課	課 長	荒 木 勲
		建設専門官	村 岡 和 満

【全測連中国地区協議会】

役 職	氏 名	所 属 協 会 (役 職)
会 長	和 田 晶 夫	島根県測量設計業協会 (会 長)
副 会 長	澤 克 生	鳥取県測量設計業協会 (会 長)
	清 水 英 二	岡山県測量設計業協会 (会 長)
	森 脇 克 彦	広島県測量設計業協会 (会 長)
	伊 藤 輝 泰	山口県測量設計業協会 (会 長)
幹 事	山 本 賢 一 郎	鳥取県測量設計業協会 (副会長)
	高 島 俊 司	島根県測量設計業協会 (副会長)
	土 井 良 浩	岡山県測量設計業協会 (副会長)
	佐々木 仁 志	広島県測量設計業協会 (副会長)
	花 村 浩 史	山口県測量設計業協会 (副会長)
事 務 局 長	竹 原 敏 夫	島根県測量設計業協会 (事務局長)

- 意見交換項目 (1) 令和5年度からの「B I M / C I M原則適用」について
(2) 入札制度について
(3) W e b 協議等について

○ 地整との意見交換会にあたり、データ収集、資料を作成した。

(とりまとめ 鳥取県測協 アサヒコンサルタント(株))

○ 意見交換に向け、中国地整発注業務での Web 協議の実施状況等の緊急アンケートを行った。(9月14日)

鳥取県測協5社；アサヒコンサルタント(株)、(株)ウエスコ鳥取支社

西谷技術コンサルタント(株)、(株)エスジーズ

シンワ技研コンサルタント(株)

(7) 令和4年度地理空間情報産学官中国地区連携協議会 [WEB]

日 時 令和4年11月28日

協議会構成員 日測協中国センター長、地区協会長、中国地方大学、地整技術管理課長、
農政局地域整備課長、県、市

(8) 「中国地方建設現場の生産性向上研究会」 [WEB]

日 時 令和4年11月7日

研究会構成員 広大大学院教授、地整企画部長、測量部、県、市、建設業協会
地区協会長 外

(9) 次世代の会 [中止]

所属協会	氏 名	
鳥 取	信 岡 宜 暁	アイコンヤマト(株) 代表取締役
	田 栗 信 昭	(株)ジーアイシー 代表取締役
島 根	小 村 淳 浩	(株)大隆設計 代表取締役
	古 川 篤	(株)古川コンサルタント 代表取締役社長
岡 山	秋 山 啓 嗣	(株)秋山測量設計 代表取締役
	小 野 貴 史	(株)アイエスコンサルタント 代表取締役
広 島	泉 田 義 博	(株)イズタコンサルタント 代表取締役
	平 賀 勝 秀	ウムヴェルト(株) 代表取締役
山 口	井 上 博 臣	(株)テイケイエンジニアリング 代表取締役
	泉 洋 一	(有)泉土木コンサルタント 代表取締役

(10) 時間外労働規制に係る労働基準監督署との接触状況等調査

建設コンサルタント等に適用されている時間外労働規制が令和6年4月から建設業に適用されることから、時間外労働時間規制が適用されてから今日までの労働基準監督署との接触状況について地整から調査依頼があり対応した。(回答27社のうち該当有8社)

V. 活力ある協会運営

1 総 会

(1) 第11回定時会員総会 令和4年4月27日 米子市

- 令和3年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について
- 理事・監事の選任について
- 令和3年度事業報告について
- 令和4年度事業計画について
- 同 収支予算について

- 専門委員会委員の任命について
- (2) 第1回報告会 令和4年11月29日 鳥取市
 - 各専門委員会報告
 - 「県との意見交換会(8/5)」の結果について
 - 「郷土づくりシンポジウム(10/26)」の結果について
 - 3次元測量設計検討委員会(9/21、11/8)について

2 理事会

- (1) 第1回 4月12日
 - 令和3年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認について
 - 令和3年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書の承認について
 - 第11回定時会員総会の開催について
- (2) 第2回 4月27日
 - 会長、副会長及び専務理事の選定について
 - 専門委員会委員の任命について
 - （公社）鳥取県建設技術センター理事の推薦について
- (3) 第3回 5月24日
 - 各専門委員会の活動について
 - 現地研修について
 - 地区協「次世代の会」委員の選出について
- (4) 第4回 7月12日
 - 各専門委員会報告について
 - 県との意見交換会の議題について
- (5) 第5回 9月6日
 - 各専門委員会報告について
 - 郷土づくりシンポジウムについて
- (6) 第6回 11月15日
 - 各専門委員会報告について
 - 国交省県内事務所との意見交換会について
 - 報告会について
 - 第12回定時会員総会について
- (7) 第7回 1月20日
 - 令和5年度事業について
 - 会員に関する規程の制定について

- 県の総合評価入札制度等に対する意見について
- 米子市景観審議会委員の推薦について

(8) 第8回 3月9日

- 各専門委員会報告について
- 令和4年度事業執行状況、決算見込みについて
- 令和5年度事業計画(案)、予算(案)について

3 決算監査

令和3年度決算監査(4月5日)

4 専門委員会

(1) 総務委員会

1) 第1回 5月11日

- 令和4年度の活動について

2) 第2回 6月22日

- 令和4年度郷土づくりシンポジウムの開催内容について

3) 第3回 8月9日

- 令和4年度郷土づくりシンポジウムの開催内容について

4) 現地研修

日 時 令和4年6月16日(木)～17日(金)

場 所 新潟県信濃川大河津分水路、関屋分水路

参加者 22名

5) 親睦グラウンドゴルフ大会《9月16日 中止》

6) 令和4年度郷土づくりシンポジウム開催 10月26日

出前講座 鳥取工業高校、倉吉農業高校 10月26日(LIVE配信)

米子工業高校 10月19日(録画配信)

(2) 経営委員会

1) 第1回 5月11日

- 令和4年度の活動について

2) 第2回 6月7日[書面]

- 令和4年度若手技術者勉強会(案)について

3) 災害復旧実務研修会 6月24日

4) 技術士第一次・RCCM試験準備研修会 8月4日

5) 若手技術者勉強会 8月24日[中止]

6) 次世代を担う経営勉強会[中止]

7) 県による総合評価入札の検証結果説明 12月23日

8) 総合評価入札制度等に関する県との意見交換会 3月17日

(3) 技術委員会

1) 第1回 5月11日

○ 令和4年度の活動について

2) 第2回 6月22日

○ 道路工事関係技術便覧改訂に係る意見について

○ 砂防技術指針改訂に向けた意見について

○ 3次元測量設計検討委員会について

○ 第6回優良業務発表会開催結果について

○ 全県統一事項について

3) 第6回鳥取県優良業務発表会 5月25日

4) 地区協 第9回土木設計関係技術発表会 WEB 10月6日

5) 建設技術研修検討委員会 10月19日

6) 県への申し入れ等

①砂防インフラ維持管理システムを利用した砂防関係施設点検業務の仕様書見直しと説明会開催を県へ申し入れ 9月8日

②優良業務表彰の代表挨拶について未実施会社の優先選定を県へ申し入れ 9月8日

7) 全県統一事項

県との意見交換会で全県統一事項を要望 8月5日

8) 技術便覧・指針改訂

①道路工事関係技術便覧改訂に関する意見を県へ提出 6月30日、2月27日

②砂防技術指針改訂に関する意見を県へ提出 6月30日

③治山技術指針改訂に関する意見を県へ提出 10月7日

9) 見積書提出・歩掛見直し

①砂防インフラ維持管理システムを利用した砂防関係施設点検業務の見積書を県へ提出 6月10日、9月30日

②鳥取県砂防関係施設長寿命化計画更新業務の見積書を県へ提出 11月22日

③橋梁補修調査設計業務の歩掛見直しについて再度申し入れ 5月31日

(4) 3次元測量設計検討委員会

1) 第1回 9月21日

○ 委員会の目的について

○ 3次元測量設計の現状と課題・問題点等について

○ 今後の検討の方向性について

2) 第2回 11月8日

○ 3次元測量設計の現状、課題・問題点、対応（案）について

3) 3次元測量設計の現状、課題・問題点、対応（案）を県へ提出・説明 11月8日